

平成 30 年 9 月 27 日

関係機関 各位

市立三次中央病院 緩和ケアセンター

緩和ケア研修会（ご案内）

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は、当院の運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。
当院では緩和ケアセンター主催の研修会を年間シリーズで開催しております。
お忙しいとは思いますが、多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

謹白

記

平成 30 年度 第 6 回 市立三次中央病院 緩和ケアセンター主催
備北緩和ケア月例公開研修会

日時：平成 30 年 10 月 15 日(月) **18:30～19:30**
会場：市立三次中央病院 健診センター 2 階 大講堂
演題：治らない治さなくてよい認知症ケアの基本レシピ
—行動・心理症状（BPSD）対処のコツ—
講師：市立三次中央病院 緩和ケア 臨床心理士
南 佳織 先生

申込方法は別紙参加申込書をご覧の上、お申し込みください。

—問合せ—

〒 728-8502 三次市東酒屋町 10531 番地
市立三次中央病院 緩和ケアセンター
担当：新谷 ひとみ
Tel：(0824)65-0101



市立三次中央病院 緩和ケアセンター主催
緩和ケア月例公開研修会⑥《通算第31回》

● 日時：平成30年10月15日（月）
18:30～19:30 講義・Q&A

● 会場：市立三次中央病院
健診センター2階 講堂

● 演題

治らない治さなくてよい認知症ケア の基本レシピ

ー 行動・心理症状 (BPSD) 対処のコツー

人口の超高齢化とともに激増しつつある認知症の中核症状(記憶障害・見当識障害・失語・失認・失行・判断力低下など)は「老化現象」として十分に理解・対応可能です。けれどもBPSDと称される周辺症状(昼夜逆転・徘徊・拒絶・異食・弄便・被害妄想・暴言/暴力など)は介助・介護の工夫を尽くしても解決しない場合が多々あります。抗認知症薬に頼らない薬物療法も含めて、認知症ケアの基本原則を解説します。

市立三次中央病院 緩和ケア内科 臨床心理士
南 佳織

<講師略歴>

南 佳織(みなみ かおり):

広島大学教育学部心理学科, 同大学院教育学研究科心理学専攻卒業。
単科精神病院を経て, 広島大学病院緩和ケアチーム, 広島西医療センター物忘れ外来, JA広島総合病院緩和ケアチーム, 片山内科クリニック(認知症専門, 倉敷市)にて, これまで多数のがん患者および認知症者とその家族のケアに従事。平成30年1月から現職。
(財)日本臨床心理士資格認定協会認定臨床心理士。認知症ケア専門士。



緩和ケアセンター主催研修会申込用紙

日時：平成 30 年 10 月 15 日(月)18:30~19:30

会場：市立三次中央病院 健診センター 2階 講堂

演題：治らない治さなくてよい認知症ケアの基本レシピ
—行動・心理症状（BPSD）対処のコツ—

講師：市立三次中央病院 緩和ケア 臨床心理士
南 佳織 先生

施設名			
連絡先	Tel :	担当者 :	
申込者 :			
氏名		氏名	
1		6	
2		7	
3		8	
4		9	
5		10	

FAX または郵送でお申し込みください

〒 728-8502

三次市東酒屋町 531 番地

FAX : (0824) 65-0159

締切は 10 月 12 日(金)です。

(緩和ケアセンター 新谷)